



番外編2

# 感染症流行下の世界と 隙を狙う者たち

青山製薬



東京—ジャパン—



それから、ルンデンシュ  
タインへの出張の準備を  
しておくんだけ。  
現地で共同開発している  
治療薬の状況を直接確認  
する！



おい、感染症に  
よるルンデン  
シュタインの  
入国制限が、  
緩和された  
という報道が  
出ていたぞ！  
きちんと裏を  
取っておけ！



よろしく  
お願いしますよ。

松田顧問は、新  
薬の販売計画に  
ついて、チーム  
へのアドバイ  
スを。



小野営業部長、  
外務省の海外安全  
ホームページにも  
緩和されたとの情報  
が掲載されていまし  
た。待ちに待った  
出張の準備をします！

※本マニュアルのストーリーは、『ゴルゴ13』の画を使用して作成している都合上、マスクやパーティション等の感染症対策の描写は省略されています。ご理解をお願いいたします。



お、やっとなる。  
ルンデンシュタイ  
ン出張の作戦会議  
か？ なんか浮か  
ない顔をしてる  
な？



また、怪物の  
上田安全管理  
部長が出張を  
ストップして  
いるのか？



そうなんですよ。  
上田部長は、外務省の  
感染症危険レベルが  
まだ下がっていない  
し。



感染症は取まって  
きているし、テロなんて  
起きないだろう、この  
ご世に。



安全管理部長は、今年  
度の安全対策予算を  
削られたから、テロを  
理由に危機をおおっ  
するだけだ。気に  
することはないぜ。



外務省の危険レベ  
ルや領事メールを  
気にしてたら、

いつまでたっても  
海外出張には行け  
ないぜ。そんなこ  
とをしていたら  
ビジネスチャンスを  
失うよ。



それもさうだな。  
小野営業部長から  
かけあつてもらお  
うか。



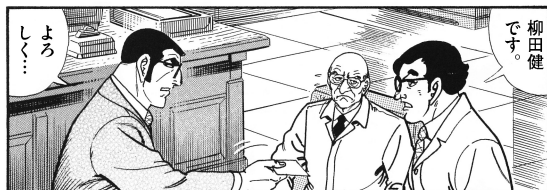
ところで、  
誰が出張に  
行くんだ？

製薬研究部の  
柳田開発室長に  
行つてもらおうと  
思つてます。  
感染症がなければ、彼は  
ルンデンシュタインの支社に  
赴任予定でしたから。



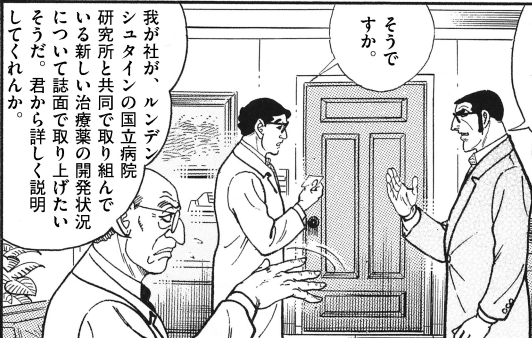
あの研究者肌の柳田  
か。あいつはたしか  
ルンデンシュタイン  
に留学していたん  
だったな。

それじゃ、  
俺は野暮用が  
あるから先に  
失礼するよ。



元々は北米の医薬品業界  
向けの専門誌で、今年の  
春、東京にオフィスを  
開設しました。

そうで  
すか。



我が社が、ルンデン  
シユタインの国立病院  
研究所と共同で取り組んで  
いる新しい治療薬の開発状況  
について誌面に取り上げた  
そくだ。君から詳しく説明  
してくれんか。

こんな  
場所ですみ  
ません。

どうぞ  
……



早速だが、治療薬の  
開発状況は？有効  
性はすでに確かめ  
られているのか。  
副作用は……

企業秘密に  
なるので、  
あまり詳しく  
は話せません  
が、



メルデシブルと  
アプゴンの長所を組  
み合わせ、副作用を大幅  
に軽減させる事を目指して  
ます。臨床試験も開始済み  
です。結果はまだ出ていま  
せんが……

そんな新聞  
にも書いて  
ある事を、

聞きに来たのでは  
ない。もっと専門的に  
説明しろ。



すみません、これ以上は  
上司にも言うな、と釘を  
刺されていますので……

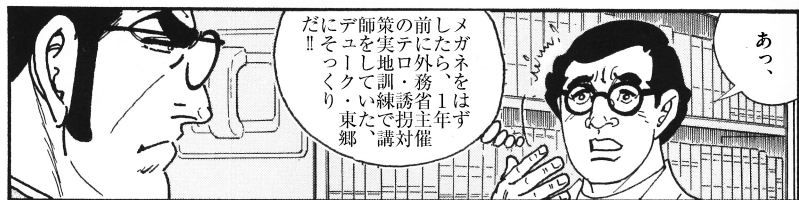
ずいぶん  
高圧的な  
記者だなあ  
……

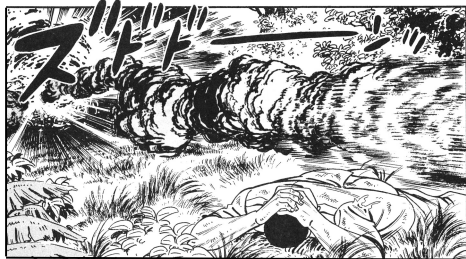
役に立たん奴だ。  
では、話題を変えよう。



メガネをはず  
したら、1年前  
に外務省主催  
のテロ・誘拐対  
策実地訓練で講  
師をしていた  
デューク・東郷  
だ！  
……

あつ、





安全対策は十分  
におこなっている  
のか？ 外務省や民  
間のオンライン研修  
に参加させているのか  
？ ルンデンシユタイ  
ンにおけるテロの脅威  
をどう評価している？



御社は海外にも  
多くの事務所を  
構えているが



あの時の訓練は、実戦さながら  
で、本当に生きた心地が  
しなかったなあ……



あいにく私は技術屋  
でして、オンライン  
研修って、なんです  
か？ ルンデンシユ  
タインのテロの脅威  
なんて、知りません  
よ……

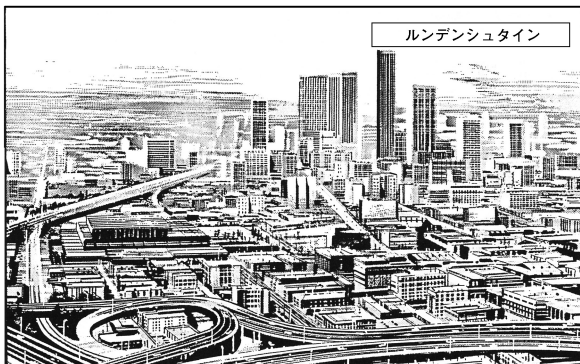


そうか。  
せいぜい自分の  
身は自分で守る  
事だ。



出張に行く  
ので忙しい  
んです……

もう、この辺  
でいいですか。  
私は明日から、



病院の  
警備状況は  
どうなつて  
いるかね？

いつでも  
実行に移  
せます。

感染症患者の收容先  
ともなっている病院が、  
襲撃されるとは  
誰も思っていない  
はずです。



アンワル・  
ハムザ君

襲撃のター  
ゲットは、  
見つけた  
のか？



はい、国立病院  
がよいかと



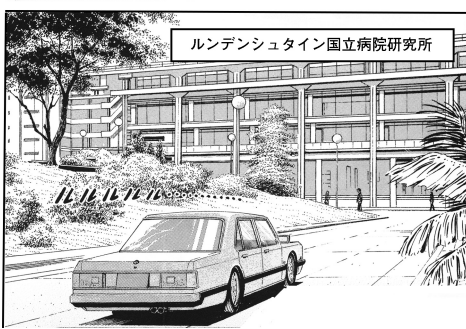
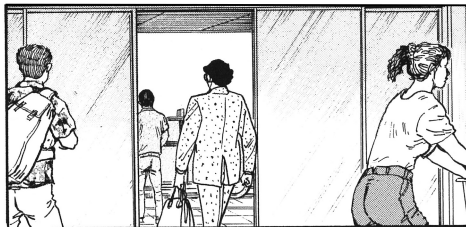
今こそ  
まさに  
好機だ  
な！

感染症流行の影響も  
あつて従来より  
手薄になって  
いるようです。



今回の感染症は  
神の罰です！  
その患者の多い  
病院が襲撃され  
れば、

さらなる恐怖  
とパニックを  
引き起こす  
事ができます。





デニス、この設備は素晴らしい！

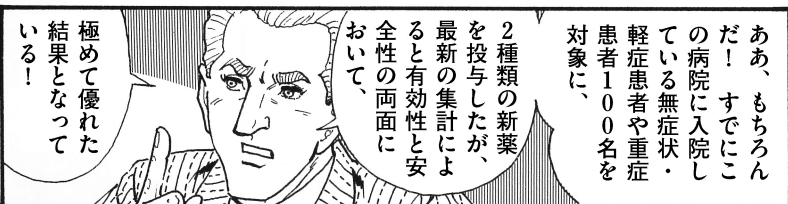
青山製薬よりも立派かい？  
湾岸産油国の資金援助を受けているからな。



先週のテレビ会議でも説明したが、ここでは青山製薬が開発した遺伝子の機能解析プログラムを活用して、創薬ターゲットになる、

遺伝子洗い出す事に成功したんだ！  
現在、新薬の第Ⅲ相臨床試験を実施中だ！

メルデシブルやアブゴンを超える薬ができそうか？



ああ、もちろんだ！すでにこの病院に入院している無症状・軽症患者や重症患者100名を対象に、

2種類の新薬を投与したが、最新の集計によると有効性と安全性の両面において、

極めて優れた結果となっている！



想像以上に進んでるね！



すこいなケン！

ジュリーじゃないか！元気にしてたかい？

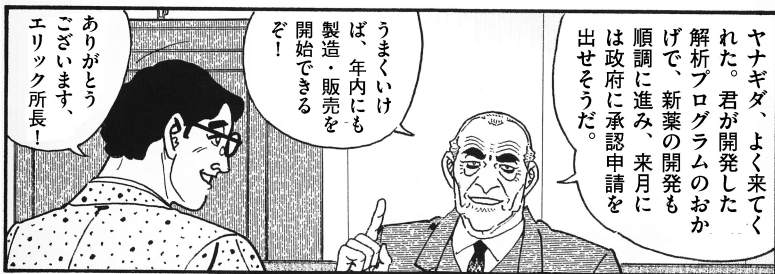


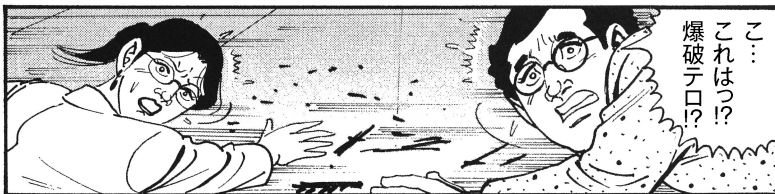
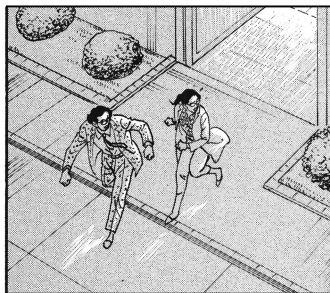
やっと来てくれたのね！エリック所長もお待ちかねよ。



ああ、軽症患者、重症患者のいずれにも効果があり、肝機能障害といった副作用もほとんど見られないんだ！









臨時ニュースです。  
先ほど、ルンデンシユ  
タイン国立病院と病院  
に隣接する研究所が、  
襲撃されました。

武装勢力によるものと  
思われる襲撃を受けた  
病院と研究所は、その後、  
爆発、炎上……

現地では、消火活動、  
救助活動が行われて  
いますが、死傷者が  
多数、出ている模様  
です。



一部情報によります  
と、イスラム過激派に  
よる、爆弾テロ攻撃の  
可能性が指摘されて  
おり……



青山製薬社長室

上田安全管理部長、報告ありがとう。状況はよくわかった。社員がとりあえず無事で何よりだ。

次回の役員会で、海外安全対策の強化を、議題に取り上げるから、改善策を提案してくれ。

予算はけちるな！俺が認めてやるから心配せんでいい。

「自我作古」の精神で、他に類を見ない、

社員教育に取り組むんだ。

ガチャ

やはり、海外安全対策は部長レベルに任せておいてはダメだな！トップの俺が前面に出るしかない…情けない事だが…

感染症が流行して感からといって、テロ・誘拐対策を軽視してはいかん！安全対策に失敗は許されないのだ。

今回は危ないところだった。手遅れになる前に安全対策の根本的な見直しを図る事にしたよ。助言に感謝する。

それと、ここは禁煙だ……

## 番外編 2

### 感染症×テロの複合的なリスクへの 対処という新しい問題提起

2020年以降、世界的な感染拡大を見せた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をめぐる状況は、海外でのテロ対策について、新しい問題を投げかけました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ほとんどの国において、何らかの入国制限や入国後の行動制限が課されるとともに、住民に対する外出規制などの行動制限措置が課されました。

海外進出日本企業においてもコロナの世界的拡大の当初は、拠点を有する各国

の感染の拡大状況や出入国制限の把握、事業継続の可否に係る判断で多忙を極めた一方、各国の水際措置が緩和された後も「ウイズ・コロナ」「ポスト・コロナ」での事業再開に向けて、様々な取組みや企業努力が行われたことと思われまます。

では、こうした状況下において、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）やアル・カーイダ等のテロリストの動きはどうだったのでしょうか。

テロリストにとっても新型コロナウイルスのような感染症は他人事ではありません。テロリストが新型コロナウイルスに感染すればテロを起こすことは難しくなるので、彼らも内部で感染症対策に取り組んでいた模様です。

例えば、ISILの機関誌では、組織の構成員向けに手洗いを含む感染予防への取組みが奨励されていました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国際的な人の往来が減れば、テロの目的も達成しづらくなると思われていました。しかし実際には、新型コロナウイルス流行直後の2020年から2021年にかけてテロ発生件数は微増に転じたというデータもあります。

このように、感染症流行下でも、世界におけるテロ発生のリスクが下がったとみるべきではありません。むしろ、感染症の拡大とテロが同時に発生するという複合的なリスクに対処する必要性について、新しい問題が提起されたと言えます。

## 2 社会変化とテロを含むリスクの発生

ISILやアル・カイダ等テロリストは新型コロナウイルス感染症の世界的大流行を「神の罰」と称し、欧米諸国が麻痺と恐怖に襲われていることにつけ込んで欧米諸国に攻撃を仕掛けるよう呼びかけていました。また、イスラム過激派や極右・極左過激主義勢力は、コロナ禍の行動制限により人々のオンライン活動が増加したことを利用して、インターネットを介したプロパガンダの拡散やリクルート活動を行っていました。

また、新型コロナウイルスの発生により、政治・社会・経済に対する不満や不

安を募らせた市民が過激主義者に共感し、単独犯によるテロを引き起こすリスクも高まりました。実際、新型コロナウイルスが流行していた2020年中も欧米主要国を含め、多くのテロが発生してしまいました。また、コロナ収束後の人々の活動再開を狙って、テロリストが実行に移す可能性があると報告もあるので注意が必要です。

さらに、テロに加え、世界各地で新型コロナウイルス感染症の流行を契機としたアジア人に対するヘイトクライムが発生しました。

例えば、アメリカでは、スーパーマーケットで買い物をしていたアジア人家族が刺される事件や、地下鉄駅で日本人が

複数の年少少女から暴行を受ける事件等も発生しています。

このようなアジア人に対するヘイトクライムが今後大規模な事件へ発展する可能性も、残念ながら排除されません。

もうひとつ忘れてはならないのが、サイバー攻撃の脅威です。

新型コロナウイルス感染症の流行以降、感染対策として普及した「テレワーク」に用いられる個人端末や海外拠点のシステム端末の脆弱性につけ込んだ、機密情報の窃取、暴露、破壊、それらの行為をほめかした金銭要求等の事案が増加しています。

被害は一拠点だけにとどまりません。堅固なセキュリティを持つ本社システ

ムが、管理の甘い海外拠点経由で攻撃された事例も複数あります。

### 3. 感染症の拡大下における

#### テロ対策の要点

感染症×テロの複合的リスクに備える上でも、「たびレジ」／在留届への登録を徹底いただくとともに、最新の感染症情報やテロ・誘拐情報を外務省HPから入手いただくことは、安全対策の基本です。その上で、複合的リスクに備えるためには、これまでの対応とは異なってくる面があることを念頭に置く必要があります。

例えば、

- ・外務省、危機管理会社、または各企業が行ってきたテロ・誘拐対策訓練や対面式の大規模セミナー等は、感染症流行時は従来どおりの実施が難しくなる可能性があります。

- ・出張スケジュールやプロジェクト計画等の漏洩、SNS等での不要な投稿は、思いがけない事件や事故につながりかねません。

- ・テロ・誘拐発生時には、発生源の国内規制により、テロ・誘拐に巻き込まれた方のご家族や本社の社員を現場に迅速に派遣することが難しくな



るかもしれませんが。当該国において国内の移動制限があれば、在外公館による支援にも影響が出てくるかもしれません。

・日本の入国規制や航空便の運休・減便により、社員がテロ・誘拐から無事に解放されたとしても、すぐに家族の元に戻ることが困難になるかもしれません。

・テロの被害に遭ってしまった場合、在外公館は最大限のサポートをしますが、発生源の規制等により、外務省のERT（海外緊急展開チーム）要員を派遣し、迅速に支援を行うこ

とが困難な場面も排除されません。

こうした状況を踏まえ、企業の皆様におかれては、

①リモート型の安全対策セミナーへの積極的な参加やオンライン研修の積極的な導入をお願いします。

②テロ・誘拐対策マニュアルの整備を行い、社員・社員のご家族への共有をお願いします。マニュアルの整備に当たっては、国内移動、国外への出国、本社からの支援、政府からの支援等に一定の制約が生じる可能性も念頭に、既存のマニュアルを見直

していただくことが効果的です。

③整備したマニュアルに基づき事件発生を想定した訓練をオンラインも活用して実施していただき、マニュアルの精度と関係社員の対応能力の向上を図っていただくようお願いいたします。

次ページに、感染症の流行を踏まえた自社マニュアル作成のためのチェックリストを掲載していますので、ご活用下さい。

## 感染症の流行を踏まえた

### 自社マニュアル作成のための有事に備えた追加チェックリスト

注：感染症の流行下で海外安全に関わる重大事態、特にテロ・誘拐等の緊急事態が発生した場合に備えたチェックリストであり、社員の感染予防対策は含まない。

#### 1 体制・対策

(本社・現地拠点共通)

- 社内に感染者が出た場合でも緊急事態発生時に組織としての機能が失われないような体制になっているか。  
(一定数の社員が自宅等でテレワークを行う、リモートでの対応が行えるクリーンな執務室を確保しておく、グループ制で勤務する場合は、対策本部員をできるだけ各グループに均等に分ける等)。
- 本社と現地拠点との間でオンライン会議を行う体制が、ハード（設備機器等）及びソフト（指揮命令系統等）の両面で整備されているか。
- 本社と現地拠点間の通信セキュリティーが、ハード・ソフト両面で十分に確保されているか。
- それらの体制が本社と現地拠点で相互に認識されているか。
- 日頃から社内でオンライン会議を実施するなど感染症流行下での緊急事態発生時にスムーズに意思疎通を図ることができるようになっているか。

YES NO

(本社)

- 外務省 HP などを活用し、現地拠点の所在する国・地域の感染症の流行状況、医療状況、出入国制限や行動制限などをタイムリーに把握しているか。
- 現地拠点の勤務体制や各職員の執務場所（オフィス / 在宅）を把握しているか（現地拠点に確認すれば速やかに社員全体の状況が把握できる体制となっているか）。
- 海外拠点のサイバーセキュリティーの管理・監督を適切に行う体制があるか。

(現地拠点)

- 感染症の流行を受けた移動制限、出入国制限、利用可能な食料品店等、移動と生活に関わる必要な情報を適時に入手し本社と共有しているか。

- |  | YES                      | NO                       |
|--|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> サイバーを含む情報セキュリティ管理体制が確立されているか。   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ネットやメールから入る、安全関連情報の真偽を見分ける手順が確立されているか。                                      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 緊急事態発生時に日本国在外公館、現地の日系商工会議所等の邦人団体のみならず、現地保健当局、保険会社や拠点病院等と迅速に連絡がとれる体制となっているか。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 通信ツール（通話・TV会議等）のメンテナンス会社と日頃から連絡をとっているか。<br>（できれば保守契約等もしておく。）                | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 現地スタッフの採用と活用を行っているか。  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 2 備蓄

（現地拠点）

- |  |                          |                          |
|--|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 消毒液、マスクや非接触型の体温計の備蓄は十分か。  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 勤務地での外出禁止措置等を受け、緊急事態発生時に自宅等に長期間とどまることを余儀なくされる可能性があることから、そうした事態に備えて食料品など必要な備蓄をしているか。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 通信ツール（通話・TV会議等）の不具合を想定して、連絡や会議のための予備の通信手段（衛星電話等）を備えてあるか。                            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 通信端末（サーバー、PC、スマホ等）の通信手順のセキュリティが本社基準を満たしているか。  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 3 退避への備え

（現地拠点）

- |   |                          |                          |
|---|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感染症の流行を受け、現地拠点の所在する国・地域でとられている移動・出国制限などを考慮した退避行動のシナリオを策定し、社内で共有しているか。（感染症の流行拡大に伴う国際空港の閉鎖や航空便の運休・減便も念頭に、陸路などの代替ルートでの退避計画を立てているか。） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> そのシナリオは適時に見直しているか。   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 4 研修・訓練

（本社・現地拠点共通）

- |  |                          |                          |
|--|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感染症の流行下での緊急事態発生時に備えたオンライン型の研修・訓練に参加しているか。本社は現地拠点にそうした研修・訓練に参加するよう指示しているか。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|--|--------------------------|--------------------------|